

前原横渚海岸周辺現地視察アンケート取りまとめ

1. 市民会館周辺の利活用について、どのようにお考えでしょうか。また、市民会館について活用の可能性について、どのようにお考えでしょうか。

《市民会館周辺全般》

- ・経済的視点から現実的な路線で考える。
- ・スケボーパークや釣堀等の「遊び」や「アクティビティ」面での強化が面白い (2)
- ・市民会館、潮騒公園、プールなどが一体として活用できればよい (2)
- ・周辺施設を含め一体として考え、駅の近いシーフロントの拠点として、ショッピング・カフェバー、アクティビティセンター、ビーチコートなどのマリン・ビーチスポーツ施設を整備し、海辺をハイセンスに演出する
- ・海+プールという「ウォータースポーツ」の拠点として整備
- ・公園は公園のままでよい
- ・みんなが集まる鴨川の新しいシンボルとする

《市民会館》

- ・市民会館の活用は、耐震化の問題又は津波等の問題がクリアされれば、非常に好立地にある建物であり有効活用するべきである。
- ・市民会館は老朽化しており、耐震性もはっきりしていないため、壊す方向がよい (2)
- ・市民会館で開催しているイベントについては、規模によって廃校となる体育館などを多目的化するなどして対応し、1000人クラスの文化イベントは南総文化ホールを利用する
- ・市民会館については合宿所として宿泊できるように改築し、その一階をエリアマネジメントセンターとする (通年で収益も見込めます。)
- ・市民会館は、①催事的なイベント会場と控え室を含む準備場所、②マリンスポーツ貸出所、③お客様トイレ用途とする。
- ・市民会館は複合施設としてリノベーションする

《市営プール》

- ・市営プールの跡地利用法のビジョンを明確化し、土地を県に返還することなく活用すべき
- ・プールの跡地が無駄でもったいない。競泳用プールとして整備 (簡易的な屋根があるとよい)
- ・室内プールとして整備する。(雨天時などシーワールドしか選択肢がないことの理由のひとつ)
- ・市営プールは、アウトソーシングして、ドーム付き温浴スパとして活用した方がよい。プールに限らず、岩盤浴等一年中集客が見込める施設に変える。

2. フィッシャリーナ後背地の利用について、どのようにお考えでしょうか。

- ・国有地の含まれる市民会館周辺に比べると、市と地元漁協が所有しており整備しやすい
- ・比較的広大な土地のためスケールメリットを活かすべき

《活用方法等》

- ・道の駅として整備（相当な投資が必要だが、物品販売となるため、民間企業の融資等も期待できる。）
- ・キャンプ、釣り、サーフィンなどの一体的レジャースポットとする（※駐車場の整備が必要）
- ・温泉施設を整備（海水浴客やサーファーはもちろん、地元の人達が利用できるため。また、地元の人達は自由に入れる温泉を求めている）
- ・人工芝を引いてビーチサッカーとひもづけてフットサルコートとして利用できるようにし、地域の高齢者のための転倒予防教室など医療と連携して施設を利用する
- ・ビーチコート（砂コート）を整備しビーチスポーツを展開、BBQ ガーデンやアクティビティスペースなどの設置、目の前のビーチとも連動した事業展開を展開、海辺クラブのオフィスも置き管理・運営も兼ねる
- ・全面アスファルト舗装は反対、芝生や砕石などを利用した自然素材、後で改変がしやすい地表面として駐車場も整備したほうが良い
- ・漁港とシーサイドの中間に位置するエリアなので、海産物のマーケット（食事）などのエリア (2)
- ・観光バスが停まれる駐車場スペース
- ・ボート貸出用の機能も備え付ける
- ・フィッシャーマンズ・マーケット
- ・バイオマス温泉

《課題》

- ・現在漁協で定置網資材の修理保管する場所として使用しており、ここを整備する場合、作業スペースの確保の協議が必要
- ・特に夏季イベントで集客が予想される場合、駐車場不足が懸念され、フィッシャリーナに施設を設ける場合、更に駐車場問題が深刻化するのでは
- ・フィッシャリーナ後背地の活性化は魅力的だが、駐車場問題を解決できないと困難では
- ・バーベキュースペースとしたりグランピング施設とするとごみの問題が起こる

3. 駐車場・路上駐車についてどのようにお考えでしょうか。

《駐車場関係》

- ・海太郎周辺の荒れた土地に駐車場機能を移す。
- ・市民会館前、フィッシャリーナ後背地及び周辺に駐車場を整備 (2)、有料で運用すべき
- ・国有地、県有地での運用においては「環境整備料」などの名目で徴収する
- ・有料化した駐車場は鴨川観光プラットフォーム (株) の安定財源の一つにすべき
- ・公営駐車場の場所がわかりづらく、案内看板等を設置したほうがよい。(2)
- ・駐車場整備が最重要だと感じている
- ・駐車場所が確保できれば、駐車料を徴収しても客離れが進むとも思えないため、徴収していくべき
- ・駐車場整備の発想としては、数多くの自動車を集めるというものではなく、自然環境保護、景観保全の考え方から、駐車場のキャパ=環境負荷のかかりすぎない来訪者数と考え、整備・運営していく
- ・特に休日・夏季はサーファーの占有感が強く、サーファー以外の利用者 (海の散歩、観光ほか) が使いづらい

《路上駐車関係》

- ・路上駐車は禁止すべき (2)
- ・路上駐車は見た目や治安上良くなく、きちんと管理する必要がある (3)
- ・都内の路上駐車のように区画を定めて有料化すべき。(2)
- ・路上駐車に対し、公営駐車場へ駐車させるような看板等が必要 (2)
- ・平日は駐車場はガラガラなのに路上駐車をしている状況
- ・路上駐車を禁止するとしても、別の場所を確保する必要がある。
- ・市民会館前からフィッシャリーナ間は、遊歩道として車が入れないように規制 (ポールを立てるなどする。) 加えて簡単な屋台などを路上に出す。
- ・サーフィンをする者として、波の状態をチェックして、すぐに海に入れるというメリットがある。(駐車禁止という自覚はなく、路上駐車している人は同じ理由ではないかと思う。)
- ・狭くても対面通行できるよう中央線を引き「路上駐車するのが気が引ける」ような状況をつくってしまう。
- ・プロムナードのコンクリート砂よけを撤去し、海ぎりぎりに作る。8メートル道路を整備し車が通れるようにする。

4. 空き店舗の状況についてどのようにお考えでしょうか。

《現状の感想・課題等》

- ・海沿いの店舗や家屋に集中して計画すべき
- ・再生は非常に困難
- ・駅をはさんで海側は寂しい
- ・出店もハイリスクであり、余程のことがなければ観光客は足を運ばない
- ・フィッシャリーナから市民会館前までの店舗数が少なすぎるため導線が確保できていない
- ・冬の閑散期の売り上げをどうカバーするのか、年間を通した売り上げが確保できなければ誘致が難しい
- ・通りに店舗が増え、同じコンセプトのもとまちづくりができればとてもすばらしく生まれ変わる
- ・建物自体が古く、崩れかけた店舗もあるため、早急に有効活用するプロセスを進めるべき
- ・歩いた感じでは、すぐオープンできそうな店舗は少ないように感じた

《活用方法等》

- ・空き家は近隣のホテルと連携して、民泊などに活用する。(管理や鍵の受け渡しはホテルで行うなど)
- ・オシャレなショップもしくはホテル、もしくはオシャレな住宅にするとまちの美観を損なわずにすむ(条例等でしばれないか)
- ・空き店舗は所有者が関係するため、簡単には活用できないものもあるが、粘り強く交渉し、プロムナードに点在する空き家をリノベーションするなどし、安価な賃料で提供しオシャレなカフェやバー、ショップなどを開いてもらう(2)
- ・雰囲気の良い空き家をリノベーションして、ギャラリー、カフェ、ゲストハウスなどにする。
- ・シェアオフィスやシェアハウス

《仕組みづくり等》

- ・空き家のリノベーションクラブなど立ち上げたらどうか(建築家、行政、若者、地元大家さん等)
また、クラブの拠点として「鴨川ベース」をつくる
- ・店舗は、都市計画上「統一した」開業条件をつくる
- ・鴨川海辺クラブに加入しなければ、同地区で開業できない。制度がある代わりにサポート資金の助成が得られるようにする
- ・空き店舗を貸したいオーナーがいれば、海辺倶楽部に申請してもらい、賃借人を斡旋する仕組みをつくる
- ・若い人たちがチャレンジしやすい仕組みづくり
- ・クラウドファンディングなど参加型店舗をつくる
- ・大学と連携し、若いアーティストの制作の場やギャラリーなどによるまちづくりを行う
- ・ソーシャルグッドな団体(スタートアップ企業・研究所・社会企業家・NPO・NGO)を誘致する

5. 前原横渚海岸周辺地域にあった方がよいと思われる機能・設備等

- ・統一されたデザイン

- ・総合案内所 (3)

- ・海沿いの歩道の整備 (3)
- ・サイクリングやセグウェイなどで海沿いを滑走できる仕組み (2)

- ・飲食や物販などの店舗 (5)
カフェ・バー、オシャレなショップ
漁協直営のレストラン

- ・アクティビティ施設
- ・アクティビティ等を催すステーション機能
- ・アウトドアアクティビティの体験センター
- ・イベント広場
- ・ウォータースポーツやアウトドア関連のメッカ的存在になるとすれば、スポーツ医学関連の施設
- ・人が集う仕掛け
- ・行政が運営するトレーニング施設 (規模は違うが、横浜市スポーツ科学センター)
- ・ビーチスポーツ施設 (ビーチコートなど)

- ・機能的駐車場 (景観を損なわない立体駐車場など)
- ・有料駐車場

- ・温泉施設

- ・休憩所
- ・途中で休めるベンチ
- ・看護師が常駐している救護所
- ・出張交番

- ・サーフポイントとしての海の整備

- ・インスタ映えするような、海へ突き出した栈橋

6. その他、意見等ありましたら記入してください。

- ・まずは市の意思決定で自由に使える土地や家屋から拡張をはじめるべき
- ・現実路線で考えるべき
- ・生活感や現実感を極力排除し、バカンスな雰囲気のまちづくりが必要
- ・365日休日感を出さないと、まちづくりに失敗する

- ・海岸沿いは大型観光バスが走行するには狭く、駐車場を含め近寄りがたい。
- ・潮騒市場から前原海岸への車の抜け道の検討が必要。それにより前原海岸への移動がわかりやすくなるとともに、駐車場の確保にもつながる。

- ・広い砂浜を利用して、ビーチサッカーやビーチバレーの全国大会やプロの大会の誘致で知名度とイメージアップを図る。(2)
- ・白砂を入れて砂浜を広くし、濡れずにすごせるスポーツができる環境を整えたい
- ・砂浜を通年利用できるようなイベントを開催する

- ・健康寿命が延びてお亡くなりになる直前まで身の回りのことをしっかりできる運動能力を身につけるのに貢献できるような施設は、地元の人ならず、合宿に来る学生や一般観光客の皆様にも利用価値の高い施設になる

- ・プロムナードにもう少し手を加えるとよい
例：青年会議所が行ったウォールアートのイベントを毎年開催し、コンテストを行う。
キャンパスはプロムナードの堤防を提供、材料だけを提供する。コンテスト参加者にマンパワーを提供してもらえば、年を重ねるごとに安価にできる。(ビーチウォールアートの聖地にする。)
ウォールアートなどで雰囲気が洗練されてくれば、ライブなどのイベントを企画する人も増えてくる。
整備順としては、①フィッシャリーナ後背地の再整備(アクティビティスペース)、②プロムナードの整備、空き店舗への出店誘致、③市民会館及び周辺エリアの再整備
- ・防波堤を作るのであれば、観光的にレンガ調につくり、行政的にしないこと

「鴨川“海辺”倶楽部」募集要項（第一期）

【設立趣旨】

「鴨川“海辺”倶楽部」は、鴨川市内の海辺を訪れる人々、南房総・鴨川地域に居住する住民や子どもたちに対して、*ウェルネス・リゾートの概念に基づき健康増進・余暇活動の充実・観光・体験教育プログラム・イベント等を地域特有の自然環境、スポーツ、人材、文化を活用し、開発、企画、運営、開催をしより活気のある健康的な市民生活と観光振興に寄与する事を目的とする。

また、その活動の永続性と発展性を後世に引き継ぐ財産としてこの豊かな自然環境の保全、改善も活動の目的とする。

※「鴨川“海辺”倶楽部」に加入した団体等が行うイベント事業規模により、活動をサポートする資金（5万円～50万円を想定）を補助いたします。（別途要件による審査を予定。）

*ウェルネスとは：身体、精神、社会的な健やかさを維持・発展させるための行動。健やかな状態を、病院等での治療といった一時的な機会に委ねるのではなく、生活全体を良質なものにすることで実現させる考え方。

【募集要項】

1 募集要件（入会資格）

以下の要件全てに該当すること

- ・倶楽部の趣旨に賛同頂ける、団体、組織もしくは個人事業主
- ・会員相互に協力し合い補い合い活動する事業体
- ・マリンスポーツ等を含めた多様なアクティビティを提供する又は予定する事業体
- ・複数年度に渡って継続した事業を行える事業体
- ・海辺の環境美化に寄与する事業体

2 会員期限

加入日から2019年3月31日まで（以降は継続希望確認及び審査の上、継続）

3 募集期間（第一期）

2018年11月19日（以降の申込に関しては、別途調整）

4 申込方法

申込者は、鴨川“海辺”倶楽部参加申込書に必要事項を記入のうえ、事務局（7 鴨川観光プラットフォーム（株））へ申し込みます。（FAX可）

5 登 録

鴨川観光プラットフォーム（株）にて審査の上、結果を通知します。

6 実施する活動への補助

鴨川市内に拠点を置く「鴨川“海辺”倶楽部」に加入した団体等が行うイベント等に対し、事業規模により、活動をサポートする資金（5万円～50万円を想定）を補助いたします。

※入会后、別途補助への申請が必要となります。

但し、行う事業内容が、下記の一覧項目に、(少なくとも3つ以上)あてはまり、鴨川観光プラットフォーム(株)評議委員会の審査に合格することが必要です。

- ・ 海辺の「良質な日常」を提供できるものであること
- ・ 海辺周辺を利用したものであること
- ・ 年間を通じた提供が可能であること
- ・ 今後の事業化、商品化へつなげられるもの
- ・ 市民との交流が図れるもの
- ・ 機材等の備品を購入したことによって、今後の活用が図れるもの
- ・ 備品等の保管・管理場所等の確保が出来ている
- ・ 鴨川のブランドイメージにつながるもの
- ・ 健康づくりにつながるもの
- ・ 地域人材の活用が可能であるもの
- ・ 既存のイベント等との共同が可能となるもの
- ・ 地域事業者にメリットのあるもの
- ・ 魅力体験広場やエリアマネジメントセンターの機能として組み込める可能性があるもの

7 問い合わせ・申込先

鴨川観光プラットフォーム株式会社

〒296-0001 千葉県鴨川市横渚 1459-5

電話：04-7093-2461 FAX：04-7093-2462

メール：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

営業時間：平日9：00～17：00（土日祝日除く）

担当：安田、日渡、小澤

2018年10月18日

鴨川“海辺”倶楽部 会員向け事業補助に関するお知らせ

鴨川市内に本拠地を置く鴨川“海辺”倶楽部メンバーを対象に、事業内容により活動をサポートする資金の一部補助を行います。

1. 活動サポート対象

☆鴨川市内に拠点を置く鴨川“海辺”倶楽部メンバーで、行う事業内容が下記募集対象項目に、3つ以上あてはまる事業を実施する団体又は個人

- ①海辺の「良質な日常」を提供できるものであること
- ②海辺周辺を利用したものであること
- ③年間を通じた提供が可能であること
- ④今後の事業化、商品化へつなげられるもの
- ⑤市民との交流が図れるもの
- ⑥機材等の備品を購入したことによって、今後の活用が図れるもの
- ⑦備品等の保管・管理場所等の確保が出来ている
- ⑧鴨川のブランドイメージにつながるもの
- ⑨健康づくりにつながるもの
- ⑩地域人材の活用が可能であるもの
- ⑪既存のイベント等との共同が可能となるもの
- ⑫地域事業者にメリットのあるもの
- ⑬魅力体験広場やエリアマネジメントセンターの機能として組み込める可能性があるもの

※鴨川観光プラットフォーム(株)評議委員会の審査に合格することが必要です。

2. 活動サポート金額

1件当たり、5万円～50万円の範囲内で、事業内容・計画を基に審査の上判断する

3. 申請期間

2018年10月18日～2018年12月28日

4. 申請方法

鴨川“海辺”倶楽部 事業補助申請書に必要事項を記入のうえ、見積書等を添え事務局（7 鴨川観光プラットフォーム(株)）へ申請してください。

※原本及びコピーの2部を提出してください。

※データ持参の場合は、原本1部のみで可とします。

5. 申請から報告フロー

| | 期 限 | 申 請 者 | 鴨川観光PF(株) |
|-------|-------------|-----------|-----------|
| 交付申請 | 2018年12月28日 | 資金補助申請提出 | 申請受付 |
| 審 査 | | | 評議委員会にて審査 |
| 補助決定 | | 補助決定通知書受領 | 補助決定通知送付 |
| 補助請求 | 決定通知発行後速やかに | 補助請求書提出 | 補助請求書受付 |
| 補助金支給 | | 補助金受領 | 補助金支給 |
| 事業の実施 | | 事業の実施 ※1 | |
| 事業報告 | 2019年3月11日 | 事業報告書他提出 | 事業報告書受付 |
| | | | 報告書審査 |

※1：事業報告の後、鴨川観光プラットフォームから、アンケート調査を依頼致しますので、ご協力をお願い致します。

6. 取得設備の管理・処分

取得した設備に関しては、原則3年間譲渡や処分する場合は、鴨川観光プラットフォーム(株)への事前申請が必要となります。

7. 問い合わせ・申請先

鴨川観光プラットフォーム(株)

〒296-0001 千葉県鴨川市横渚 1459-5

TEL：04-7093-2461 FAX：04-7093-2462

メール：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

営業時間：平日9：00～17：00（土日祝日除く）

担当：安田、日渡、小澤

工 程 表 (案)

| プロジェクト名 | | 事業者 | | 開始日 | | 完了予定日 | | 作成者 | | 作成日 | | | | |
|----------------------|-----|-------------------|-----|---------|----|----------|-----|-------------------|-----|----------|----|----|----|----|
| 前原横濱海岸周辺の魅力づくり | | 鴨川市観光プラットフォーム株式会社 | | H30.6.1 | | H31.3.22 | | 鴨川市観光プラットフォーム株式会社 | | H30.11.5 | | | | |
| 内 容 | 主担当 | 補助① | 補助② | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 備考 |
| 1 マリンスポーツ等レクリエーション協会 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 備品、資材等の購入 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 株式会社モンベル社訪問 | | | | ◎ | | | | | | | | | | |
| 4 鴨川「海辺」倶楽部 | | | | | | | | | | | | | | |
| 募集要項作成 | | | | | | | | | | | | | | |
| 募集告知 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 海辺の体験プログラムの開発 | | | | | | | | | | | | | | |
| 説明会開催 | | | | ◎ | | | | | | | | | | |
| 講師への依頼 | | | | | | | | | | | | | | |
| 開発ワークショップの開催 | | | | ◎ | | | | | | | | | | |
| 6 専門家人材の招聘 | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門家候補人材の推挙 | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門家人材の確定 | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門家候補への依頼 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 担い手の公募と育成 | | | | | | | | | | | | | | |
| 募集内容の検討 | | | | | | | | | | | | | | |
| 募集内容の決定 | | | | | | | | | | | | | | |
| 説明会の開催 | | | | ◎ | | | | | | | | | | |
| 募集の開始 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 広報プロモーション活動 | | | | | | | | | | | | | | |
| カモ旅サイトの改修準備 | | | | | | | | | | | | | | |
| カモ旅ナビ映像の制作 | | | | | | | | | | | | | | |
| 体験プログラムネット販売 | | | | | | | | | | | | | | |
| TV番組「ダマしてごめん」収録 | | | | ◎ | ◎ | | | | | | | | | |

9/16 収録 ◎ 10/16オンエア

鴨川”海辺”倶楽部 入会申込一覧

| 番号 | 団体名 | 代表者 | 住 所 | 補助金申請 |
|----|--------------------|-------|----------|-------|
| 1 | 第三新生合同丸 | 本多一統 | 鴨川市磯村 | |
| 2 | 鴨川市観光協会 | 鈴木健史 | 鴨川市横渚 | |
| 3 | 鴨川温泉旅館業協同組合 | 吉村敦広 | 鴨川市横渚 | |
| 4 | ナブトマニア | 伊丹一茂 | 鴨川市太海 | |
| 5 | 海岸の環境整備事業 | 張磨敦之 | 鴨川市池田 | |
| 6 | SONNE kamogawa B.S | 岡野大和 | 鴨川市天津 | |
| 7 | 特定非営利活動法人うず | 林 良樹 | 鴨川市釜沼 | ◎ |
| 8 | 江見納涼花火実行委員会 | 長谷川裕一 | 鴨川市江見内遠野 | |
| 9 | 江見海岸美化活動推進協議会 | 梶谷純一 | 鴨川市江見西真門 | |
| 10 | 城西国際大学 観光学部 学友会 | 大鐘 颯 | 鴨川市太海 | |
| 11 | Noroshi | 大鐘 颯 | 鴨川市太海 | |
| 12 | | | | |
| 13 | | | | |
| 14 | | | | |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |

【第1回 ワークショップに関するアンケート】

2018.10.19開催

【参加者データ】

| 男性 | 女性 | 市役所 | 合計 |
|----|----|-----|----|
| 9 | 1 | 3 | 13 |

【年代】

| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 0 | 10 |

Q1. 今回のワークショップが開催されることを何から知りましたか。* (複数選択可)

| チラシ | CLIP | 房日新聞 | カモ旅 | FB <small>家族・友人・知人から</small> | その他 | |
|-----|------|------|-----|------------------------------|-----|----|
| 2 | | | 1 | 5 | 2 | 10 |

*その他: 安田さんからの声掛け

Q2. 今回のワークショップについて、総合的にどのくらい満足していますか。

| 満足 | やや満足 <small>どちらともいえない</small> | やや不満 | 不満 | |
|----|-------------------------------|------|----|----|
| 10 | | | | 10 |

Q3. 「Q2」で回答した理由をお書きください。

- ・体験型サイト運営会社の直接的な講義は受けた事は無く、今後の活動に対して、とてもためになりました。
- ・かなり参考になりました。今後の活動に活きますし、活用したいと思います。*4名
- ・具体的でよかった。
- ・リアルな今の体験型観光について学べる機会になった。話し方が聞きやすかった。
- ・普段聞けないお話や情報をたくさん聞け、とても勉強になりました。*2名

Q4. 次回、第2回以降も参加したいと思いますか。

| 参加したい | やや参加したい | どちらともいえない | あまり参加したくない | 参加したくない | |
|-------|---------|-----------|------------|---------|----|
| 9 | | 1 | | | 10 |

Q5. 「Q4」で回答した理由をお書きください。

- ・様々な内容を聞いてみたい。*3名
- ・次回もとても期待している。刺激的なお話を期待しています。
- ・具体的に商売の参考になると思う。
- ・新しい視点が得られる。
- ・知らなかった情報が得られただけでなく、自分が実践している事の見直しや整備、新しいアイデアにつながる。
- ・〇〇さんの場に参加して、情報収集、知識を深めたい

Q6. やってみたい体験のアイデアがあればご自由にお書きください。

- ・巫女体験、神社体験、禊(みそぎ)体験、地域取材体験。
- ・いろいろあります。
- ・ままちゃり、レンタサイクルなど、誰でも参加できるサイクルイベント
- ・元漁師の方が使用していた網などの道具を使った小物作り体験。
- ・船釣りを観光や体験とからめてみたい。

Q7. 今回のワークショップに対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・実際にカタチにしていきたいと思います。
- ・良かった。勉強になった。*2名
- ・具体的なプランの組み立て方などを経験できる機会を設けて欲しい。
- ・参加者同士が話しやすい机の並び方にする、全体で新しい話ができたりチャンスがうまれるかも。
- ・観光や地域おこしを取り巻く補助金や融資、経営方法などのセミナーがあるとありがたい。また、PPPやPFIについても鴨川で可能か。

講師のアソビュー株式会社 伊東様より

「参加者のモチベーションが高く、
質疑応答を通して真剣さを感じました。
私も様々な地域でセミナーを行っていますが、
1時間も質疑応答が続いたのは初めてでした。
参加者の熱狂っぷりに、私もいつも以上に楽しくお話をさせて頂きました。
この参加者の中からキーマンが出てきそうだと感じています。
鴨川では様々な形で、貴社とともに取り組みが出来たらと思います」。

【第2回 ワークショップに関するアンケート】

2018.11.16開催

【参加者データ】

| 男性 | 女性 | 市役所 | 合計 |
|----|----|-----|----|
| 22 | 6 | 2 | 30 |

【年代】

| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 未回答 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|----|
| 0 | 7 | 6 | 1 | 8 | 0 | 6 | 28 |

Q1. 今回のワークショップが開催されることを何から知りましたか。* (複数選択可)

| チラシ | 房日新聞 | カモ旅FB | 家族・友人・知人から | その他 | 未回答 | 合計 |
|-----|------|-------|------------|-----|-----|----|
| 5 | 0 | 4 | 8 | 5 | 6 | 28 |

*その他: 安田さんからの声掛け、FBのつながりで

Q2. 今回のワークショップについて、総合的にどのくらい満足していますか。

| 満足 | やや満足 | どちらともいえない | やや不満 | 不満 | 未回答 | 合計 |
|----|------|-----------|------|----|-----|----|
| 19 | 3 | | | | 6 | 28 |

Q3. 「Q2」で回答した理由をお書きください。

- ・自分の考えを広げる事ができました。「村」の作り方や3Hの考え方等々が衝撃的で同時に楽しくもありました。
- ・バイタリティのある方で魅かれてしまった。
- ・全体的には面白かったのですが、プロジェクト毎のディテールなど教えて下さると良かった。
- ・講師の選定、事例が鴨川にとっても良い参考になりそうに思い良かった。実体験の話なので聞けて良かった。
- ・様々なヒントが盛り込まれており参考になりました。*2名
- ・橋村さんが全国でヴァレッジを展開していけている理由が分かった感じがしました。
- ・地域資源をうまく活用し経営している仕組みや考え方など、具体例と実際の映像を交えて分かり易かった。
- ・事例が具体的でとても学びが多かった。*2名
- ・面白かった、ワクワクした。*3名
- ・橋村氏の能力と情熱がなければ成功しないのでは。
- ・何もない場所だからこそ生み出されるもの。使えないと思った事を使える物にする。そんなアイデアを教えられ自分の今後の考え方が変わったと思いました。
- ・ためになる考え方を学びました。
- ・「1泊1.5万円、ほぼ予約でいっぱい」という事前情報を不思議に思っていました。なるほどと思いました。
- ・詳しい業務内容のみならず、理念の内容が好き。
- ・自ら火を起こす場づくり、その目的と手段が合致しておりとても共感した。
参加者(顧客)が幹事として成長していく仕組みはとても面白い。
- ・表面的な内容に限らずリアルな話であったこと。
- ・色々アイデア事例が聞けたこと。

Q4. 次回、第2回以降も参加したいと思いますか。

| 参加したい | やや参加したい | どちらともいえない | あまり参加したくない | 未回答 | 合計 |
|-------|---------|-----------|------------|-----|----|
| 16 | 1 | 3 | | 8 | 28 |

Q5. 「Q4」で回答した理由をお書きください。

- ・話し方が面白く、自分が現在係わっているプロジェクトにいかしていけそうだと思います。
- ・かかわったので最後までやってみたい。
- ・人と出会い、自分の世界をふくらませたい「面白くなるぞ」。
- ・事業の展開過程を学べそうだから。
- ・(「どちらともいえない」と回答) 多忙なため。
- ・聞いていてとてもワクワクした、自分もやってみたいと思う内容だったから。
- ・今後、鴨川でできる事、生み出せる事を考えることで、どのように成長できるかをみてみたいと思った。
- ・次回の内容に興味を持ったから。*2名
- ・実践でのアイデア出し、提案を体験したいので。*2名
- ・フラワーセンターでの地域おこしが気になります。
- ・楽しい、楽しそう *2名
- ・人に求められる場づくり、運営の切り口を知る。
- ・ヒントがあるから
- ・ワークショップにも興味があるので。

Q6. やってみたい体験のアイデアがあればご自由にお書きください。

- あまりに多いので・・・、いろいろ *2名
- 棚田×キャンプ
- 釣り、水遊び、DIY
- 松島周辺のアクティビティ(魚見塚含む)
- 広域エリアで房総半島全体の芸術祭や音楽フェス、映画上映会など
- 鴨川には毎年一定数の学生が来ている。その人達に鴨川を知ってもらったり、遊べるような体験、場、空間が欲しい
- 秘境でのグランピング、イベント。海辺だけではなく山の中でも出来るような事を考えたい
- オフシーズンでいかに集客をするかを考える
- 海に入れない親、子どもがいる家族でも楽しめる空間があれば最高
- フィッシング系アクティビティ

Q7. 今回のワークショップに対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- すごく楽しく勉強になりました。
- 今、考えている事を公開して良いのか？タイミングを考えています。
- 今後、実践に入っていくのがとても楽しみ。
- 地域の強みを見直すきっかけになりました。
- 自分の考えが変わるような意見や考えを知る事ができ、これから自分に何が出来るのかを考えさせられる時間でした。
- 次回は机無し、円座で双方向トークで盛り上げたい。
- 「当たり前」と思っていることが「当たり前」じゃないことを地元の人に伝えていきたい。

鴨川 海の体験塾



鴨川市前原・横渚海岸の魅力を発信し好奇心を刺激
「楽しそう！面白そう！行ってみたい！参加したい！」と
思うような体験プログラムを市民参加で開発、そして実現へ。

第3回 海辺の体験プログラム構築ワークショップ

テーマ：

「鴨川的『村づくり』地元資産活用 フィールドワーク（前編）」

日時 2018年12月21日（金）
18時～20時

会場 鴨川市市民会館
鴨川市横渚808-33
☎04-7093-1131

定員 20名※定員になり次第締切らせて頂きます
(15歳以上で体験プログラム構築に意欲のある方)

申込締切 12月17日（月）17時まで

講師 橋村 和徳 様
株式会社ヴィレッジインク代表

参加
無料

～講師プロフィール～



橋村 和徳 (Kazunori Hashimura)
株式会社VILLAGE INC代表

1973年生まれ、佐賀県唐津市出身。
東京の大学を卒業後、テレビ局3年、上海勤務
を含むITベンチャー8年の会社勤務を経て、
2009年に帰国し伊豆下田へ移住。
アウトドアベンチャーとしての活動を開始し
2011年に「VILLAGE INC.」を設立。
船でしか行けない1日1組のキャンプフィールドを
皮切りに、地域の自然資産を生かした『空間』
と『非日常体験』でもって感動の時間を提供できる
事業「Villaging ヴィレッジング」(村づくり)を
全国で手掛けている。

※終了後、懇親会を予定しております(会費制)

◎次回開催は2019年1月18日(金) 予定

【お申込・お問合せ】鴨川観光プラットフォーム(株)
TEL：04-7093-2461（9時～17時まで、土・日・祝日除く）
mail：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

主催：鴨川観光プラットフォーム(株)

◆受講申込書

| | | | |
|--------------------------|--|----|--|
| 参加者氏名 | | 年齢 | |
| 事業者名 | | | |
| 電話番号 | | | |
| メールアドレス | | | |
| ご職業または 実施している 事業内容 | | | |
| 実施したい 体験プラン案 | | | |

※上記内容は本事業以外で使用することはございません。

【申込み・問い合わせ先】

先着順

鴨川観光プラットフォーム(株) 担当：小澤

FAX：04-7093-2462

MAIL：kamogawa.kankou.pf@gmail.com

締め切り：2018年12月17日（月）

※申込者多数等でご参加頂けない場合のみ、こちらからご連絡させていただきます。
※やむを得ない事情により内容の一部及び中止になる場合があります。